

# 國際法外交雜誌

第五十六卷 第一號

昭和三十三年四月三十日發行

## 論 說

條約の國內實施および適用をめぐる若干の問題

——英美佛國の法規慣行を中心に——

中央大學比較法研究所助教 經塚作太郎

天津條約（一八五八年）嗣印後における清國外交機構の動搖（二・完）

——欽差大臣の上海移駐から英國公使ウオードの入京まで——

都立大學教授 坂野正高

## 資 料

スエズ紛争

——主として世界經濟から見たその影響と推移——

法 學 士 高梨正夫

## 紹 介

Walter Schiffer, *The Legal Community of Mankind, A Critical Analysis of the Modern Concept of World Organization, 1954* (高林秀雄)——Ernst Sauer, *Souveränität und Solidarität, 1954* (佐藤和男)

## 文獻目録

# 國際法外交文雜誌

第五十六卷 第二號

昭和三十三年五月五日發行

## 論 說

袁世凱帝政問題と日本の外交

東京外國語大學講師 曾村保信

ソヴェトの領水理論について (二・完)

——アー・ヌヌ・ニコラーエフの所説を中心として——

都立大學助教授 内田久司

## 紹 介

池田文雄「國際航空法概論」(戸田修三)——岡倉古志郎「世界政治論—世界政治學—」(立川文彦)——F. M. Jeykon, *Memorandum Otnomennu na Japaneu*

*Boctone, 1840—1949*, (Mocema, 1956) (坂本是也)——George F. Kenan, *Russia*

*Leaves the War, Soviet American Relations, 1917-1920, Vol. I.* (飯田藤次)

## 資 料

アジア法律諮問委員會について

## 公 文 書

スエズ運河關係資料(運河會社國有化他四—英文・佛文)

# 國際法外交雜誌

第五十六卷 第三號

昭和三十三年八月五日發行

## 論 說

二十一箇條要求に關する若干の考察(一) 廣島大學教授 堀川 武夫  
イギリス・ノルウェー漁業事件の國際法的意義

慶應大學助教授 中村 沈

英米法の遺產管理に關する抵觸法上の一考察(一)

九州大學助教授 矢ヶ崎 武勝

## 資 料

赤十字國際委員會が作成した「戰時において一般住民が被る危險の制限に關する規則案」(一九五六年)

榎本 重治

## 紹 介

横田喜三郎・尾高朝雄共著「國際連合と日本」(武内辰治)

## 會 報

# 國際法外交雜誌

第五卷 第四號

第六十五卷

昭和三十三年二月二十五日發行

特集

南方諸島の法的地位

論説

日本の國運加入と南方諸島

アメリカ施政權の本質

沖繩統治の機構と機能

小笠原問題の沿革と特性

外交保護權

沖繩住民の地位

沖繩軍用地問題

沖繩沈船の地位

奄美群島の復歸

中國の租借地

ザールランド

サイプラス島

資料

琉球列島の統治に関する大統領命令(日・英文)

神戸外國語大學助教授 皆川 洸

東京大學名譽教授 横田喜三郎

琉球大學教授 新城利彦

外務省條約局第三課 川上 健三

廣島大學教授 小谷 鶴次

中央大學助教授 桑田 三郎

東京大學教授 加藤 一郎

愛知大學教授 入江啓四郎

名古屋大學教授 山下 康雄

東京大學教授 植田 捷雄

明治大學助教授 宮崎 繁樹

慶應大學助教授 中村 洸

# 國際法外交文雜誌

第六號 第五十六卷

昭和三十三年三月二十五日發行

## 論說

國際經濟政策の發展と國際經濟法

神戸外國語大學教授 金田 近二

二十一箇條要求に關する若干の考察(二・完)

廣島大學教授 堀川 武夫

英米法の遺產管理に關する賦解法上の一考察(二)

九州大學助教授 矢ヶ崎 武勝

## 資料

旅順をめぐる一世紀

東京大學教授 植田 捷雄譯

ハイマン・カフリン

## 紹介

伊藤不二男「スアレスの國際法理論」(大澤章)——J.S.ピクテほか著・

榎本重治譯「千九百四十九年八月十二日のジュネーブ條約解説I」(宮崎繁樹)——

F.H. Michael, G.E. Taylor, 'The Far East in the Modern World, 1956(石川忠雄)

——J.W. Morley, 'Japanese Thrust into Siberia, 1918, (1967) (關寛治)

## 會報

## 總目錄